

=====

HITACHI エンタープライズサーバ EP8000 シリーズ マシンコード来歴

=====

EP8000 505/520/550/560/570/590/595 ファームウェア変更内容と来歴

バージョン	変更内容
01SF240_403_382 (モデル 560/570 のみ適用)	<p><u>影響範囲</u>：保守性向上 <u>重要度</u>：必須</p> <p>特定の P5 システムに影響を与えるシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モデル 560 及び 570 システムにおいて、電源 FAN 故障の報告を改善することで、システムがダウンする可能性を低減した。 ・ CPU ドロワが 3 台あるいは 4 台のシステムにおいて、3、4 台目のドロワの電源 FAN が、外気温に合った適正な回転数にならない問題の修正。
01SF240_382_382	<p><u>影響範囲</u>：保守性向上 <u>重要度</u>：重要</p> <p>P5 システムすべてに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ このレベルはいくつかの SF240_xxx ファームウェアレベルからのディスラプティブアップデートである。システムファームウェアのこのレベルをインストールする前にシステムをパワーオフすべきである。もし、システム稼働中にこのレベルがインストールされた場合、すべてのパーティションが終了し、リポートを要求されるため、CEC がリポートする。 ・ AIX エラーログエントリー “early power off warning type 5” の最後の詳細データが、ゼロの代わりに無効なデータで満たされる問題の修正。 ・ サービスプロセッサエラーログエントリーのいくつかのタイプが、ウェブインターフェイスを使って参照できたとしても、ASCII ターミナル上で参照することを妨げる問題の修正。 ・ モデル 570, 590, 595 システムにおいて、SRC B1xxE676, B1xxE678, B1xxE679, B1xxE67A, B1xxE67B, B1xxE67C, B1xxE67D が誤って記録されないようにファームウェアがエンハンスされた。 ・ モデル 570 システムにおいて、マルチドロワシステムでクロック問題があったとき、FRU をよりよく分離できるようにファームウェアがエンハンスされた。 ・ 存在する I/O ドロワが、同じモデルでない I/O ドロワに交換された場合、I/O アダプタの機能を妨げる問題の修正。 ・ モデル 505 システムにおいて、特定システムのメディアドライブで DVD や CD のリードを妨げる問題の修正。 ・ HACMP 構成のシステムにおいて、SMS でディスクというエイリアスが与えられたデバイスが、HACMP セットアップ中にリザベーションコンフリクトになったとき、誤ってエラーが記録される問題の修正。
01SF240_358_201	<p><u>影響範囲</u>：保守性向上 <u>重要度</u>：重要</p> <p>P5 システムすべてに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HIPER:ある条件下で F/C 5740 4-port gigabit Ethernet adapter に対して多くの enhanced error handling (EEH) エラーが採取される不具合の修正。 ・ DEFERRED:ある稀な条件下で、アプリケーションがプロセッサをエラー状態にし、システムをクラッシュさせる不具合の修正。 ・ メモリの DLPAR オペレーション中に誤って SRC B7006971 が採取される不具合の修正。 ・ SRC B1xxE500 の直後に誤って SRC B150D133 が採取される不具合の修正。 ・ 特定の USB “traveling” keyboards がパーティションファームウェアによって構成されない不具合の修正。不具合発生時は SMS メニューをアクセスする際にキーボードが使用できない。 ・ OS から設定したブートリストが、システム管理サービス (SMS) メニューのブートリストに反映されない不具合の修正。 ・ ある稀な条件下で、LPAR が作成できなくなる不具合の修正。 ・ ハイパバイザのブート中にハイパバイザとサービスプロセッサ間の通信不良が発生した時、プラットフォームの time-of-day クロックが 1970 年にリセットされる不具合の修正。 ・ 無効なセクションサイズのサービスプロセッサエラーログが受信された時、ハイパバイザがリポートを要求する不具合の修正。 ・ サービスプロセッサの /tmp が満杯になる不具合の修正。不具合発生時は、SRCs B1814005, B1818504, B1818A0D が採取される。 ・ サービスプロセッサのメモリ領域が不足した状態となり、SRC B1551360 が採取される不具合の修正。

	<p>特定の P5 システムに影響を与えるシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル 575, 595 システムにおいて、システムのサービスプロセッサと bulk power controller (BPC) のサービスプロセッサが 2 重の IP アドレスを持つ不具合の修正。不具合発生時は HMC がシステムのサービスプロセッサと通信できなくなり、システムがクラッシュする。 クラスタプロセッサのシステムにおいて、InfiniBand 相互接続ネットワークの様々な不具合の修正。 タイムサーバを使用したネットワークにおいて、ある稀な条件下で、クライアントシステムの電源が落ちた時に time-of-day クロックが 1969 年にリセットされる不具合の修正。 冗長サービスプロセッサを持つシステムにおいて、両方のサービスプロセッサの通信が切れた時に SRC B181E692 でシステムがクラッシュする不具合の修正。 冗長サービスプロセッサを持つシステムにおいて、スローメモリーリークがプライマリサービスプロセッサのリセット/リロードを引き起こす不具合の修正。 クロックカードを指摘するハードウェア障害が発生した時の障害切り分けと FRU 指摘を改良。
01SF240_338_201	<p><u>影響範囲：保守性向上</u> <u>重要度：重要</u></p> <p>P5 システムすべてに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> HIPER: ある条件下において DLPAR (ダイナミック LPAR) 中又は PCI アダプタのブートオペレーション中に、同じバス(しかし同じパーティションとは限らない)を共有している他の PCI バスがフリーズ状態になる原因となる不具合の修正。この障害が発生するときは、アダプタのバスの障害を示す SRC (例えば 57FF8300 or BxxxA6D9) のログが採られる。 HIPER: FW レベル SF240_332 でプラットフォームシステムダンプが不完全になる原因となる不具合の修正。 システムファームウェアのインストールが SRC=B1813028 で失敗する原因となる不具合の修正。 オンボードの USB に接続しているデバイスが、ブート中に構成されるのにインターミットントに失敗する原因となる不具合の修正。 <p>特定の P5 システムに影響を与えるシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> HIPER: ランタイム中のハードウェアオペレーションを行ういくつかの機能で、テンポラリーに extended error handling (EEH) エラーを生成する原因となる不具合の修正。対象のシステムは以下。 P5: 9110-51A, 9115-505, 9111-285, 9131-52A and 9133-55A <p>HMC 無しで AIX 実行しているシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> パワーロスの後に time-of-day clock が 1969 年 12 月又は 1970 年 1 月にリセットされてしまう原因となる不具合の修正。
01SF240_332_201	<p><u>影響範囲：保守性向上</u> <u>重要度：重要</u></p> <p>新特徴/機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定のトラベリングキーボードのサポートを追加。 <p>P5 システムすべてに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> HIPER: バーチャルアダプタにバーチャルスロット番号が 512 の倍数を割り当てて構成した場合に、システムが SRC B182E500 でクラッシュする原因となる不具合の修正。 HIPER: システムのブートが遅すぎて、オペレーティングシステムが開始する前にハングする場合もある不具合の修正。これの発生時、サービスプロセッサはリポートするか、ダンプを生成する。 HIPER: コンカレントメンテナンスオペレーションが PCI I/O アダプタが数回行われ成功した後に、同じ PCI バスの他の PCI I/O アダプタで失敗する原因となる不具合の修正。 DLPAR の remove オペレーションでパーティションから PCI I/O アダプタを削除した後、パーティションがブートに失敗し、SRC B2001230 word 13 = 000000BF, word 14 = 00000002)を示す原因となる不具合の修正。 celogin で ASMI の deconfiguration メニューを開いたときに、対象としてシステム VPD カードとサービスプロセッサを追加する変更を FW に行った。 システムファームウェア SF240 で動作中のシステムにおいて、システムがブートをストップさせて SRC B1xxB0BF のログが採られる原因となる不具合の修正。 SRC B1xxE500 で word 8 が 00100016 または 00100017 を示す、あるタイプの L3 キャッシュ障害発生時に、正しく FRU を指摘しない不具合の修正。 SRC B1819522 (情報 SRC) の後に B170E500 を示すメモリ UE (アンコレクタブルエラー) 発生時に、正しい FRU を指摘しない不具合の修正。このレベルでは、SRC B1819522 の後に SRC B123E500 が示され、メモリ UE の指摘 FRU も正しく行う。

- プロセッサをシェアしているパーティションがハングする原因となる不具合の修正。
- ブート中に USB キーボードとマウスが構成されない現象が、インターミittentに発生する不具合の修正。
- CD ドライブがバーチャル SCSI (vSCSI) を使う設定にされている時に、CD からの OS のインストールに失敗する不具合の修正。
- SMS ブートリストメニューに、いくつかのバーチャル SCSI (vSCSI) デバイスが表示されない原因となる不具合の修正。
- 特定のアダプタ (通常 FDDI アダプタ) がホットプラグの時に、OS がクラッシュしたりあるいはその後のダンプに失敗する原因となる不具合の修正。
- DLPAR の add オペレーションでプロセッサホストバス (PHB) 追加後にコンカレントファームウェアアップデートを行った後、OS クラッシュする原因となる不具合の修正。
- システムに USB ヘッドホンが接続していて、ブート中にパーティションファームウェアがハングする不具合の修正。
- ブート不可の CD または DVD からブートを行おうとすると、パーティションファームウェアが SRC BA210000 でクラッシュする原因となる不具合の修正。
- ASMI の "Configure I/O Enclosure" メニューで、オペレーション完了までユーザに待つことをお願いするメッセージを追加した。理由は、いくつかのリクエストが送信され、サービスプロセッサがクラッシュすることがあるため。
- システムとパーティションが SRC B124E500 (word 8 = 0095xxxx) でクラッシュする原因となる偽のチェックストップを抑止するためのメモリバッファの初期設定の修正。

HMC 管理下のサーバとクラスタシステムに影響するシステムファームウェアの変更。

- HIPER: サービスプロセッサの /tmp ファイルシステムが満杯になる原因となる不具合の修正。これはさまざまな現象の原因となり、主なものはシステムが落ちてしまう。この問題はコンカレントファームウェアインストールが、SRC B1818A03 で失敗する原因でもある。
- HIPER: 570, 590, 595 モデルにおいて、SRCs B150E678, B150E679, B150E67B, B150E67C, B150E67D, B150E67E, B150E67F を情報イベントにする FW 変更を行った。これらは今後コールホームを行わない。さらに、SRCs B150E675, B150E676 and B150E67A を「サービス可能なイベント」とのラベル付けする際のアルゴリズムを、マルチプレクサカード (mux カード) 上で 24 時間以内に 15 エラーのログを閾値にするよう変更する。
- HIPER: CEC のパワーオン時にサービスプロセッサがリセットされたときに、SRC B155B086 のログが採られ、コールホームが行われる原因となる不具合の修正。
 以下は上記 SRC の詳細である。
 - B150E675: 閾値を超えるまでは "informational" (情報) で、超えたら "predictive" (予防的)
 - B150E676: ノード 0 (またはドロウ 0) とノード 1 (またはドロウ 1) 両方の mux が ping 失敗したら、"predictive" (予防的)。それ以外は全部 "informational" (情報)。
 - B150E67A: 閾値を超えるまでは "informational" (情報) で、超えたら "predictive, degraded" (予防的、デグレ)
 - B150E678, B150E679, B150E67B, B150E67C, B150E67D, B150E67E and B150E67F: "informational" (情報)
- 冗長サービスプロセッサのシステム上で、システムファームウェアレベル SF240_299 のコンカレントインストール後に、サービスプロセッサのファイルオーバがディスエーブルになる原因となる不具合の修正。
- システムファームウェアの更新中に、HMC がタイムアウトになり、SRC E302F928 のログが採られる原因となる不具合の修正。
- 管理対象システムがパワーオンしているときに、HMC がハングしたように見える原因となる、サービスプロセッサファームウェアの不具合を修正。
- 4 プロセッサノードの 590, 595 モデルシステム上で、スロット P5-C13 に InfiniBand アダプタをインストールしている状態でシステムのブートが失敗する不具合の修正。
- 590, 595 モデルにおいて、SRC B1xxF131 の FRU リストの最初に JMUX が指摘されるようにファームウェアを変更した。
- HMC とサービスプロセッサの間のネットワークが長時間切れていた後でつながった時に、接続を再確立出来ない不具合の修正。
- サービスプロセッサのリセット/リロード後に HMC が "incomplete" 状態になる原因となる不具合の修正。
- HMC が正しく VTERM オープンのオペレーションを行えない不具合の修正。
- SRC B181EF88 のログが採られて管理システムがクラッシュし、サービスプロセッサダンプが作成される原因となる不具合の修正。
- 冗長サービスプロセッサのシステムで、システムがリブートするのに余分に約 10 分かかる不具合の

	<p>修正。</p> <ul style="list-style-type: none"> 冗長サービスプロセッサのシステムで、HMC を使ってファームウェアのインストール中に、SRC B1818610 で回復不可能なエラーの原因となる不具合の修正。これはまた、新しいレベルのファームウェアの開くティベートも失敗させる。 冗長サービスプロセッサのシステムで、プライマリサービスプロセッサがセカンダリとの通信が出来なくなったが、セカンダリサービスプロセッサはまだプライマリと通信できる状態の時に、HMC の redundancy status パネルが真っ白になる原因となる不具合の修正。 冗長サービスプロセッサのシステムで、管理上のセカンダリサービスプロセッサに対するフェイルオーバーが起動され、サービスプロセッサ上のイーサネットポート 0 が使用不可能の時に、システムがクラッシュして(SRC B18187E3 のログが採られる)原因となる不具合の修正。 冗長サービスプロセッサのシステムで、システムがクラッシュし SRC B1818600 のログが採られ、その後でサービスプロセッサのフェイルオーバーが続く原因となる不具合の修正。 冗長サービスプロセッサのシステムで、ASMI の configuration/deconfiguration メニューが、セカンダリサービスプロセッサの状態を“Invalid” として表示してしまう不具合の修正。 <p>P5 システムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> グラフィックアダプタ搭載の 55A, 52A, 285 システムにおいて、AIX インストール後最初にリブートしたときにシステムがハングする原因となる不具合の修正。 <p>本サービスパックに関する追加情報</p> <p>上記の修正に加えて、本サービスパックはまた、発生する可能性が低い障害の修正や、製品を使用する上で既にシステムに必要とされていない、新しく製造されたシステムによくある内容、システム内部インタフェースのエンハンスなどがあります。これらの内容はコンカレントにサービスパックをインストールするシステムではアクティブになりません。</p> <p>既にインストールされて使用中のシステムにとってこの内容は必要ではありませんが、システムを停止して本サービスパックをインストールし、その後 IPL すると、この内容がアクティブになります。この内容をアクティブにするためにシステムを再 IPL する計画を作る必要はありません。</p>
01SF240_299_201	<p>影響範囲：保守性向上 重要度：重要</p> <p>新特徴/機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 冗長なサービスプロセッサを持つシステムで、システムがフェイルオーバーがディスエーブルの状態ですべてのシステムがブートした場合に、SRC B181601E でコールホームする機能を追加注意:SF235 リリースレベルから SF240_298 かそれ以上までアップグレードされている冗長なサービスプロセッサを持つシステムでは、SRC B181601E がファームウェアアップグレード処理中に表示される。このケースでのみ、SRC B181601E を無視することができる。 <p>P5 システムすべてに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> virtual I/O services (VIOS)を使っているシステムにおいて、DLPAR memory removal アクション中に、SRC B182E500 でシステムがチェックストップする問題の修正。 virtual I/O adapters を使っているシステムにおいて、物理 I/O アダプタが使用不可能な状態になり、パーティションに対しても割り当てられない問題の修正。 <p>モデル 590, 595 または他の HMC 管理対象サーバ、クラスタシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 冗長なサービスプロセッサを持つシステムで、CEC デコンフィギュレーション作業の後に誤ってサービスプロセッサフェイルオーバーをディスエーブルにする問題の修正。この障害はまた、プライマリサービスプロセッサのリセット/リロードの後に、SRC B1xx9523 でシステムを終了させる可能性がある。 SRC B1817201 で多数のサービスプロセッサリセット/リロードオペレーションの原因となっていた問題の修正。 SRC B1xxE433 の HMC サーベイランスエラーを、予防的なエラーとする代わりにインフォメーションル(ハードウェアコールアウトなし)としてログを残すようにファームウェアを変更した。 冗長なサービスプロセッサを持つシステムで、サービスプロセッサフェイルオーバーが SRC B181E911 で失敗する原因となる問題の修正。 冗長なサービスプロセッサを持つシステムで、サービスプロセッサフェイルオーバーの後に新しいプライマリサービスプロセッサから、プラットフォームダンプデータファイルを利用不可能にさせる原因となった問題の修正。 冗長なサービスプロセッサを持つシステムで、ダンプの採取後システムがリブートされた時、SRC B1818A0E のログの原因となる問題の修正。 管理対象システムを HMC から表示させた時、ハングしたと表示させてしまう問題の修正。

P5 システムすべてに影響するシステムファームウェアの変更

- celogin ユーザ用に Advanced System Management Interface (ASMI) デコンフィギュレーションメニューに、追加のリソースを含めるファームウェアの更新を行った。
- サービスプロセッサのリセット/リロードの後に SRC B1xx9523 でシステムを終了させる問題の修正。
- 不完全で (CEC メモリデータが不足する) 破壊されているプラットフォームダンプを採取する問題の修正。
- パーティションパワーオンの後、あるいはスロットに対する DLPAR オペレーションの後に、そのスロットに対する "I/O slot vary on" オペレーションが失敗する原因となる問題の修正。
- SRC BA188001 のエラーログエントリに、ロケーションコードを追加した。

P5 OpenPower システムに影響するシステムファームウェア変更

- HMC で管理されないシステムで、OS からのファームウェアインストールの後にフラッシュのテンポラリー (T) 側が "unknown" としてレベルを報告し、SRC B181300A を示す問題の修正。

モデル 575 と 590、595、他の HMC 制御サーバ、クラスタシステムに影響するシステムファームウェアの変更

- HIPER: モデル 575 と 590、595 システムにて、CEC DCA の concurrent 交換を実施した後、SRC B123E500 を表示するメモリ障害を発生する問題の修正。
- 大規模クラスタシステムにて、クラスタシステムマネージャが、複数の管理下のシステム用に、同一 IP アドレスを受領する問題の修正。この問題が発生すると、それらの複数の管理下のシステムが、HMC 上で、「no connect」または「incomplete」のステータスと表示される。
- 大規模クラスタシステムにて、AIX DHCP サーバが、あるサービスプロセッサに対して、そのサービスプロセッサが既に有効な IP アドレスを使用しているにも関わらず、新しい IP アドレスを割り当てる問題の修正。この問題が発生した場合、HMC は、HMC が通常見ているフレームや CECの中から、管理下システムのリストにある、異なったフレーム、および/または、CEC を、探し始める。
- モデル 590 と 595 システムにおいて、このファームウェアレベルは、Capability Upgrade on Demand (CUoD) DDR2 メモリが、non-CuoD DDR2 メモリが動作していたシステムにインストールされた場合に、正しく有効とならない問題を修正する。この問題は、パーティションを活動化するには不十分であり、期待されているよりも少ない容量のメモリしか活動化されていない場合に、通常発生する。メモリが現在、システムに搭載されている場合に、この問題を解決するためには、このファームウェアレベルをインストールした後で、システムをリブートし (メモリの構成情報を再採取するため)、CUoD メモリ用の新しい「activation コード」を入力しなければならない。ファームウェア SF240_284 は、FC4500、FC4501 と FC4502 の CUoD DDR2 メモリカードの最低前提条件に、新たに設定された。
- パーティションを持つシステムにて、128MB を超えるメモリを持ち、かつ、16MB の論理メモリブロック (LMB) サイズの、パーティションが、ブートを失敗する問題の修正。
- 大きいサイズのページ (16GB のページサイズ) を持つパーティションが、電源オフのプロセスを完了できない問題の修正。
- パーティションが、電源の瞬停により非活動化された後、再度活動化できない場合がある問題の修正。
- Dynamic Logical Partitioning (DLPAR) 動作が、(SRC HSCL025A: "Service processor lock failed.") のエラーにより、失敗するような動作 (要因) がないように見えるにも関わらず、失敗する問題の修正。
- HMC が、管理下のシステムにより「utilization data」を要求された時、「incomplete」ステートになる問題の修正。
- HMC が、SRC B7000602 エラーにより、誤って「incomplete」ステートに遷移する問題の修正。
- プラットフォームの障害が、システム上で動作しているパーティションに通知されるのが遅れることがある問題の修正。
- 筐体内蔵の部品の内の 1 個の FRU 確認用 LED が点灯した時、筐体の LED が点灯しない問題の修正。
- 冗長サービスプロセッサを持つシステムにて、システムファームウェアを、SF235_xxx から SF240_xxx へ更新する時に、SRC B181B013 エラーが、誤って生成される問題の修正。
- 冗長サービスプロセッサを持つシステムにて、複数の IP アドレスが、サービスプロセッサの eth0 ポートへ割り当てられる問題の修正。この問題は、HMC 上に "invalid readiness" コネクションステータスが表示され、かつ、エラーログに SRC B1xx3598 エラーが採取され、最初に装置を立ち上げた時にもっとも良く発生する。
- 冗長サービスプロセッサを持つシステムにて、サービスプロセッサのエラーログに、待機側サービスプロセッサが「guarded out」されたことを誤って示すエントリを生成する問題の修正。
- 冗長サービスプロセッサを持つシステムにて、待機側サービスプロセッサが、メモリ不足状態となつて、数ヶ月動作した後に、(SRC B1817201 エラーを表示)、リセット/リロードされる問題の修正。

	<ul style="list-style-type: none"> • 冗長サービスプロセッサを持つシステムにて、待機側サービスプロセッサのエラーログに、誤って、SRC B1815008 エラーが採取される問題の修正。 • 冗長サービスプロセッサを持つシステムにて、SRC B7006990 エラーのエラーログのエントリ中で、誤ったサービスプロセッサを指摘する問題の修正。 • 冗長サービスプロセッサを持つシステムにて、HMC からのコネクションステータスが、“Incomplete”と“No Connection”、“Already Connected”間で、変化する問題の修正。 • 冗長サービスプロセッサを持つシステムにて、待機側サービスプロセッサがフェイルオーバー可能となっていないにも係わらず、ファームウェアが、サービスプロセッサのフェイルオーバーを起動する問題の修正。 <p>一部の P5、i5、OpenPower システムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> • モデル 520 と 52A、550、55A システムにて、電源オンするためにシステムを起動した後、電源が冗長 (second) 電源に供給された場合、冗長電源を故障と指摘する問題の修正。このエラー状態がシステムで発生してしまったならば、エラー状態を解除するためには、この電源を再搭載しなければならない。 • 訂正可能な障害が発生し始めたなら、メモリ DIMM を規定よりも早く交換するように指示する問題を修正。これは、Feature Code が 7295 や 7781 のプロセッサが搭載されたモデル 561 システム、および、Feature Code が 7782 のプロセッサが搭載されたモデル 570 システムでの、問題。 • メモリ障害が発生した場合に、誤ったメモリ DIMM を指摘する問題を修正。これは、Feature Code が 7295 や 7781 のプロセッサが搭載されたモデル 561 システム、および、Feature Code が 7782 のプロセッサが搭載されたモデル 570 システムでの、問題。 • モデル 561 システムにて、サービスプロセッサを、停止状態での交換中に、B181B08E エラーを誤って採取する問題の修正。この問題は、Feature Code が 7295 や 7781 のプロセッサが搭載されたシステムにて発生する可能性がある。 • 電源サブシステムは仕様内の状態で動作しているにも係わらず、電源に関する SRCs 11008456 と 110015x4 エラーを表示し、システムがブートしないようにする問題の修正。 <p>全ての P5、i5 システムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> • HIPER : システムが、SRC B150D133 エラーを出力し、クラッシュする問題の修正。この問題の結果として、システムダンプが採取される (SRC B181F03B エラー) 。 • HIPER : 障害が low メモリにて検出された時、システム、または、パーティションがクラッシュする問題の修正。 • HIPER : ある種類の障害が発生した後、SRC B170100A エラーが表示され、I/O パス (path) がなくなるまで、I/O パスが構成解除される問題の修正。これらの状況下で、I/O パスが構成解除されないようにするために、ファームウェアを修正する。 • DEFERRED : システムメモリの信頼性を向上するための修正。この修正により、SRC B123E500 エラーの発生可能性を減少する。また、SRC B1xxF667 エラーを出力し、システムがクラッシュする可能性を減少する。 • system management services (SMS) 中での ping コマンドが、NIM インストール実行中に、失敗する問題の修正。 • 多数の B181C00A SRC エラーが、サービスプロセッサのエラーログに誤って採取される問題の修正。 • サービスプロセッサが、SRC B1817201 エラーを出力し、メモリ不足となり、かつ、サービスプロセッサのダンプを生成する問題の修正。 • サービスプロセッサのシリアルポートが、50 baud と 2400 baud で動作するように構成できない問題を修正。 • Virtual LAN アダプタ用の、system management services (SMS) メニュー中のプロトコルメニューが、表示されない問題の修正。 • ブート中に発生したエラーを、AIX が誤って報告し、かつ、AIX エラーログに報告される問題の修正。 • X window にてエラーが発生した時、ビープ音やベル音が鳴らないようにする問題の修正。 • 実行中のリポートが完了する前に、電源オフ要求が発行された時、サービスプロセッサダンプを誤って行う問題の修正。 • concurrent ファームウェア更新中、または、後に、SRC B1xx3008 エラーが、エラーログに報告されないようにするために、ファームウェアを修正。 • concurrent ファームウェア更新中、または、後に、スレッシホールド値に到達しない場合に、SRCs B1xxE676 と B1xxE678、B1xxE67A エラーが、エラーログに報告されないようにするために、ファームウェアを修正。
01SF240_261_201	<p>影響範囲：保守性向上 重要度：重要</p> <p>590 と 595 のシステムに影響を及ぼす特別な System ファームウェアの変更</p>

- 590 と 595 のシステム上でインストールされる (DDR2 メモリーカード) 特徴コード 4500、4501 と 4502 で、システムの記憶タイミングパラメータになりました。

モデル 561 と 570 システムに影響するシステムファームウェアの変更

- プロセッサフィーチャコード 7781 のモデル 561 とプロセッサフィーチャコード 7782 のモデル 570 において、SRC : B123E500 の不正なシステムメモリ障害の原因を修正。

新機能とフィーチャ

- 本サービスパックにより、モデル 590 と 595 システムで 1TB セグメント、64KB と 16GB ラージページをサポート。
- 新規プロセッサフィーチャコード/CCIN コードの組み合わせをサポート。これらフィーチャコード/CCIN の組み合わせをサポートする最低レベルを提供する。

マシンタイプ-モデル プロセッサフィーチャコード (FC)/CCIN の組み合わせ

9111-285	FC 8327 with CCIN 53C3
9131-52A, 9111-285	FC 8330 with CCIN 53C4
9131-52A	FC 8323 with CCIN 53C1
9133-55A	FC 8312 with CCIN 53C6
9116-561	FC 7781 with CCIN 53C7
9117-570	FC 7782 with CCIN 53C8
9117-570	FC 8338 with CCIN 53C9

- 新 Power 5++プロセッサフィーチャコードが下記のシステムでサポートされた :

マシンタイプ-モデル プロセッサフィーチャコード (FC)/CCIN

9111-285	5326, 5327
9131-52A	8314, 8315, 8316
9133-55A	8285, 8286

プロセッサフィーチャコード 8325, 8327, or 8330 を持つ 9131-52A システムに影響するシステムファームウェアの変更

- システムが SRC B131E500 の I/O hub エラーでクラッシュする原因となる不具合を修正。以下に影響する。: プロセッサフィーチャコード 8325, 8327, or 8330 を持つ全 9131-52A システム。

P5+プロセッサと DDR2 メモリを持つ全 P5 システムに影響するシステムファームウェアの変更。

- DDR2 メモリで動作するシステムのメモリタイミングパラメータを改良した。

モデル 590, 595 と他の HMC 管理対象サーバに影響するシステムファームウェアの変更

- パーティションがアクティブな間に LPAR グループが変更された場合に、パーティションに重み付けが与えられ続ける問題の修正。
- パーティションへメモリを追加するときに、そのパーティションに割当てられた最大メモリの量を超えたサイズをリクエストした場合に、既にダイナミック LPAR が進行していると、SRC B700F103 が発生する原因となる不具合を修正。
- プライマリサービスプロセッサが DMA transfer timeout になったときに、サービスプロセッサのフェイルオーバーが妨げられる不具合を修正。
- 590, 595 システムにおいて、IPL の時間が通常より長時間かかることがある原因となる不具合を修正。この問題が発生した場合、システムは IPL を完了させようとするが、IPL は 40 分以上遅れることがある。この間、C7004091 SRC word 7 が 00000402 が表示される。
- 管理対象システムに 1 台以上の HMC がついているときに、システムダンプが切り捨てられる原因となる不具合を修正。
- 4GB 以上のダンプを HMC が切り捨てる原因となる不具合の修正。
- プラットフォームダンプが、内部でシステムを終了させられずダンプ採取も失敗する原因となる不具合を修正。
- 冗長サービスプロセッサを持つシステムで、セカンダリのサービスプロセッサが乗っているネットワークが正しくセットアップされていないときに、そのセカンダリのサービスプロセッサがガードアウトされる原因となる不具合の修正。
- SRCs B1xxF141 and B1xxE500 の後に複数の B1xxF511 SRCs や B1xxF6D3 SRCs を示してプラットフォームダンプが失敗する原因となる不具合の修正。
- 冗長サービスプロセッサを持つシステムで、サービスプロセッサエラーログが上書きされてしまう原因となる不具合の修正。
- 冗長サービスプロセッサを持つシステムで、エマージェンシーパワーオフ (EPO) の後にスタンバイへ

と移行するために、セカンダリサービスプロセッサをリセット/リロードする事を要求する原因となる不具合を修正。

- ・ 冗長サービスプロセッサを持つシステムで、セカンダリサービスプロセッサが無応答になりフェイルオーバーが SRC B113E500 で失敗する原因となる不具合を修正。
- ・ 冗長サービスプロセッサを持つシステムで、フェイルオーバー中に 11001D02, 11001D03, そして 11001D11 から 11001D18 の SRC で不正にログを採取する原因となる不具合を修正。
- ・ 冗長サービスプロセッサを持つシステムで、
- ・ 冗長サービスプロセッサを持つシステムで、サービスプロセッサ間の通信リンクが壊れた後、再確立した後に冗長性が回復することを妨げる原因となる不具合を修正。
- ・ 不正に B181F000 の SRCs が示される原因となる不具合を修正。
- ・ 回復不可能なメモリエラーの後で不完全な FRU リストが生成される原因となる不具合を修正。
- ・ プラットフォームダンプの後で、SRC B157F22A が示され IPL が停止する原因となる不具合の修正。
- ・ 冗長サービスプロセッサを持つシステムで、プラットフォームダンプが破壊される原因となる不具合の修正。
- ・ 全てのダンプデータが揃っているにもかかわらず、HMC がダンプが不完全であると報告する原因となる不具合を修正。
- ・ ハードウェア障害のエラーでハイパバイザがあふれた後、特定の OS コマンド (snap や lsvpd など) がハングする原因となる不具合の修正。
- ・ モデル 590 又は 595 システムで 7040-61D I/O ドロワを 12 台を搭載している場合で、パーティションをブートした時にシステムファームウェアがクラッシュ (" default catch" を示して) する原因となる不具合の修正。
- ・ 多数の USB アダプタを持つモデル 590 と 595 システムで、パーティションブートが異常に遅く、システムマネージメントサービス (SMS) メニューも不正に表示される原因となる不具合の修正。
- ・ 冗長サービスプロセッサを持つシステムで、パワーオフでのサービスプロセッサの交換中に SRC HSCL1400 が不正に生成されてバックアップサービスプロセッサがガードアウトされる原因となる不具合の修正。

特定の P5 システムに影響するシステムファームウェアの修正。

- ・ モデル 570, 590, 595 システムで、メモリコントローラが誤って SRC B121E500 word 8 = 00EA0035 で障害現出することによりメモリがデコンフィギュアされる原因となる不具合の修正。
- ・ モデル 570, 590, 595 システムで、ソフトウェアに関するダンプの一部が消え、SRC B150F62A が発生する原因となる不具合の修正。
- ・ モデル 570, 590, 595 システムで、システムクラッシュの後で、ダンプデータの採取に失敗し、SRC B1xx1007 を示す原因となる不具合の修正。
- ・ モデル 570, 590, 595 システムで、HMC が管理対象システムの PCI スロットのロケーションコードを不正に表示する原因となる不具合の修正。

570 システムに影響するシステムファームウェアの変更

- ・ スタンバイ状態のサービスプロセッサを交換中に、110015xx と 110016xx 形式の SPCN エラーコードが誤って (保守対象のドロワに対して) 生成される原因となる不具合の修正。
- ・ 冗長サービスプロセッサを持つシステムで、オペレータパネルと同じドロワ内のサービスプロセッサが構成に入れられてスタンバイ状態になった後、オペレータパネルにエラーコード C1001020 が示される原因となる不具合の修正。
- ・ 電圧調整不良 (voltage regulation fault) がサービスプロセッサリセットの間で発生し、不正に SRC 11001632 が採られる原因となる不具合の修正。
- ・ 拡張ドロワへの SPCN ファームウェアダウンロードが初期で失敗し、成功するまでシステムがダウンロードのリトライを繰り返す原因となる不具合の修正。
- ・ 冗長サービスプロセッサを持つシステムで、セカンダリプロセッサ (デコンフィギュアされているか動作していない) の IP 情報がコントロール (オペレータ) パネル機能 30 によって表示されない不具合の修正。

全 P5 システムに影響するシステムファームウェアの変更

- ・ ダンプファイルが HMC によって引き出された時に、サービスプロセッサが SRC B1817201 でリポートする原因となる不具合の修正。
- ・ 誤って SRC B114E500 word 8 = 03010008 のプロセッサカード不良を検出する原因となる不具合の修正。
- ・ アダプタに高い負荷がかかっている時に DLPAR のメモリ削除オペレーションを行うと、SRC BA188002 の EEH エラーが採られ、I/O アダプタが使用不可になる原因となる不具合の修正。そのパーティションは、アダプタをリカバーするためにリポートしなければならない。
- ・ プラットフォームダンプが不完全だったり、採られなかったりする原因となる不具合の修正。

	<ul style="list-style-type: none"> • “reset PCI bus configuration”オプションが呼ばれた時に、SRC C700406E でシステムがハングする原因となる不具合の修正。このオプションは ASMI の factory configuration メニューにある。 • SRC B2001150 の追加データワードが不完全になる原因となる不具合の修正。 • DIMM に対する VPD データが使用不可の場合に SRC B181F407 でシステムがブートに失敗する原因となる不具合の修正。 • 回復可能なエラーのログが採られているにもかかわらず、SRC B181B0BF でシステムがブートに失敗する原因となる不具合の修正。 • 電源の障害の後、不適切なハードウェア FRU が指摘される原因となる不具合の修正。 • AC 電源が回復した後、システムがリスタート機能の自動パワーオンを使ったブートに失敗する原因となる不具合の修正。 • ASMI からリセットが発行された後、SRCs 11001D11 から 11001D18 が誤って生成される原因となる不具合の修正。 • ファームウェアコンソールがあるグラフィックアダプタから他に変更された時に、ファームウェアが AIX パーティションのブートに失敗する (“default catch”が表示されることによりわかる) 原因となる不具合の修正。 • SMS メニューでブートデバイスを SAN か SCSI に変更した時に、AIX パーティションのブートでファームウェアがクラッシュする原因となる不具合の修正。 <p>SRC B131E500 (“A phased-lock-loop lock failure”) のエラーが不正に生成される原因となる不具合の修正。以下のシステムに影響する。</p> <p>P5: 9115-505, 9111-285, 9131-52A and 9133-55A.</p>
01SF240_219_201	<p>影響範囲：保守性向上 重要度：重要</p> <p>新機能</p> <ul style="list-style-type: none"> • P5 9119-590 モデルと 9119-595 モデルにおいて、4GB, 8GB, 16GB の DDR II メモリカードをサポート <p>全ての P5 システムに関連する変更</p> <ul style="list-style-type: none"> • HIPER: システムがマシンの状態を、実際には特別注意すべき処理が必要ないにもかかわらず、そう解釈してしまう問題を修正。この問題はシステムをチェックストップさせる可能性もある。この問題は “Master Attention Alone” 状態として知られている。 • HIPER: サービスプロセッサの制御論理がリセットされた場合に、予測不可能な結果が起きる原因となる問題を修正 • HIPER: エラーコード B1xxE500 でシステムがチェックストップするのを予防するために、ハードウェア初期設定を変更。 • HIPER: メモリのステアリングオペレーションの後で、エラーコード B121E500 (word 8 = 00530006) でマシンチェックする原因となる問題の修正 • DEFERRED: エラーコード B181F22A がログに取られたハードウェア障害の後、システムダンプが完了できない問題の修正 • スタンバイの後 10 秒以内であるが、コントロールパネルに C1802000 が表示される前に電源の白いボタンを押したときに、システムがブートに失敗する原因となる問題を修正。 • サービスプロセッサがリセット/リロードを頻繁に実行し、ダンプファイルが多数生成される原因となる問題を修正 • PCI アダプタがホットプラグの時に、エラーコード B181F141 でシステムがクラッシュする原因となる問題を修正。 • ファームウェアを SF235 レベルの 1 つからその後の SF235 レベルに更新した後で、サービスプロセッサエラーログに情報的な SRC である B1813028 が取られる原因となる問題を修正 • サービスプロセッサエラーログ内に不正にいくつかのエラーコードのタイプが定義される原因となる問題を修正 • プロセッサランタイムダイアグコードを改良し、ダンプが採取された時に障害が疑われるプロセッサを、より正確に示すことを可能にした。 • グラフィックアダプタと USB アダプタを搭載した P5 システムにおいて、インストールされているファームウェアレベルが SF240_202_201 の時に、ファームウェアのコンソールの選択が失われる問題の修正 • SMS メニューでファイバーチャネルブートデバイスを表示させようとしているときに、システム又はパーティションがオープンファームウェアプロンプトまでドロップしてしまう問題の修正 • SF230 レベルから SF235 レベルへのコードアップデート中に誤ってエラーコード B181B013 が作られる原因となる問題の修正

- いくつかのエンクロージャーにおいて、“identify” LEDs が正しく切り替わるのを妨げていた問題の修正
- I/O タワー又はドロワの障害発生時に、過剰に B7006970 エラーコードのログが取られる原因となる問題を修正
- メインストレージダンプ後のブート中にシステムがハングする原因となる問題を修正
- システム間の HSL Opticonnect リングが HSL Opticonnect リングにタワーをコンカレントに追加している時に失敗する原因となる問題の修正
- コンカレントに HSL Opticonnect リングから削除されたフレームが、ハードウェアサービスマネージャーツールで構成にまだ残っていると表示される原因となる問題の修正
- マクロ“nm lcsnm verifyvpd -xm”が XM から全部のバス VPD を表示させない原因となる問題の修正
- extended error handling (EEH) イベントの後でキャプチャされたエラーデータが、ゼロになってしまう原因となる問題の修正
- DDR スロットにあるタイプの DDR アダプタが挿入されたときに、パーティションがシャットダウンされた後 B7006970 エラーコードのログが取られる原因となる問題の修正
- いくつかのスロットがパーティションによって使用不可になり、そのスロット又はバスからのハードウェアエラーリカバリ可能であっても、エラーコード B7006970 と B7006971 のログが取られる原因となる問題の修正。
- システムがームウェアがいくつかの PCI スロットに関して不正なエラー情報を報告し、それによりそれらのスロットに搭載されるアダプタが構成されない原因となる問題の修正

モデル 575、59x、他の HMC 管理対象サーバ、クラスタシステムに対するシステムファームウェアの変更

- DEFERRED and HIPER: P5 モデルである P575、P590、P595 を使ったクラスタで November Power5 Fortran compiler を使ってチューニングした数値計算アプリケーションを実行すると、チェックストップする可能性のある問題がある。クラスタの実行するアプリケーションは性能を最適にするためにソフトウェアプリフェッチ機能を使用してコンパイルされ、それによりサーバのチェックストップ (B1xxE500) を発生させた。この問題を修正するために、ハードウェアの初期設定を修正し、これら新しいセッティングを考慮してパフォーマンスツールも修正した
- DEFERRED and HIPER: high-performance switch (HPS) がランタイム中にアダプタエラーの閾値を越えてしまう原因となるイニシャライズ中の問題の修正
- HIPER: 冗長なサービスプロセッサを持つシステムにおいて、プライマリサービスプロセッサのレジストリの値を破壊する原因となる問題の修正。このレジストリ破壊は、ハイパバイザが構成可能なメモリの量を不正に報告する現象により証拠付けられる
- HIPER: 冗長なサービスプロセッサを持つシステムにおいて、エラーコード B1818A09 がインターミットtentに生成される原因となる問題の修正
- HIPER: 冗長なサービスプロセッサを持つシステムにおいて、セカンダリサービスプロセッサへのランタイムフェイルオーバーが失敗する原因となる問題の修正
- HIPER: 冗長なサービスプロセッサを持つシステムにおいて、システムがブートに失敗し、サービスプロセッサがデコンフィギュアされる原因となる問題の修正
- HIPER: 大きいシステム構成において VPD の問合せ時に、パワーコントロールコードがタイムアウトする原因となる問題の修正
- DEFERRED: high-performance switch (HPS) ネットワークアダプタに割当てられたメモリの問題を修正
- モデル 59x システムが、ブート中に検出したメモリカードの障害により、エラーコード BxxxF7A9 でブートに失敗する原因となる問題の修正
- 冗長なサービスプロセッサを持つシステムにおいて、エラーコード B1818A0E が複数取られてファームウェアインストールが失敗する原因となる問題の修正
- 冗長なサービスプロセッサを持つシステムにおいて、セカンダリサービスプロセッサのエラーログに B181B013 のエラーコードのログが取られる原因となる問題の修正
- 冗長なサービスプロセッサを持つシステムにおいて、ある条件下のターミネーション後に両方のサービスプロセッサがプライマリになってしまう原因となる問題の修正
- 冗長なサービスプロセッサを持つシステムにおいて、パワーオンシーケンスのごく初期に誤ってエラーコード B181E678 が生成される原因となる問題を修正
- 冗長なサービスプロセッサを持つモデル 59x において、ノードの“稼働時追加”がエラーコード B1xxE500 にて失敗する問題の修正
- 冗長なサービスプロセッサをインストールしているモデル 59x システムまたは 570 システムにおいて、セカンダリサービスプロセッサの IPL が失敗し、エラーコード B1xxF684 が生成される原因となる障害の修正
- 冗長なサービスプロセッサを持つシステムにおいて、ファームウェアがリセット/リロードする原因を示せない場合に、エラーコード B181E901 or B181E90C ではなく B181E911 を報告 (問題の切り分けのために他のエラーログも見ること推奨している) するよう修正

	<ul style="list-style-type: none"> • 冗長なサービスプロセッサをインストールしているモデル 59x システムにおいて、セカンダリサービスプロセッサによってエラーコード B181F684 が誤ってログに登録される原因となる問題を修復 • 冗長なサービスプロセッサをインストールしているモデル 59x システムにおいて、サービスプロセッサのフェイルオーバー中に、エラーコード 1000911C と 10009138 が誤ってログに登録される原因となる問題を修復 • 冗長なサービスプロセッサを持つシステムにおいて、サービスプロセッサのコールドリペア中にエラー“Message Not Found”を生成する原因となる問題を修正 • 冗長なサービスプロセッサを持つシステムにおいて、エマージェンシーパワーオフ中のある状況下でセカンダリサービスプロセッサが構成から削除される原因となる問題の修正 • 冗長なサービスプロセッサを持つシステムにおいて、セカンダリサービスプロセッサがファイルシステムをマウントしようとして、システムがリブートを繰り返す原因となる問題の修正 • モデル 59x システムで MCM とメモリカード VPD アクセスエラーの FRU リストに MUX カードを含めるよう更新 • 冗長なサービスプロセッサがインストールされていて、ファームウェアリリース SF230 かそれ以前版をインストールしている時に、エラーコード HSCL1400 を生成する原因となる問題の修正 • マルチノード 59x システムのプロセッサノード中の全ハードウェアが、ASMI deconfiguration メニューの中で誤ってエラータイプ“Association”を伴って“Deconfigured”を表示する原因となる問題の修正 • HMC 上でいくつかのエラーログエントリが見られない原因となる問題を修正 • 複数の B176871C エラーコードが生成される原因となる問題の修正 • ハイパバイザが“memory resilience”メッセージに気づかない場合にサービスプロセッサがタイムアウトを報告するようにファームウェアを改良した • HMC からハードウェアサービスアクションを実行された後、SPCN ファームウェアをダウンロードしない問題を修正 <p>24 インチラックに搭載されていない P5 と i5 システムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> • パワーダウンシーケンス中に生成されるエラーコード 11002600 の SRC とそれに続くパワーオンがエラーコード B150F22A で失敗する原因となる問題の修正 <p>特定の P5 と i5 システムに影響するファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> • DEFERRED: ランタイム中にある I/O アダプタが障害になる原因となる問題を修正。これは以下のシステムに影響する (P5: 9115-505, 9110-51A, 9111-285, 9131-52A) • エラーコード B7xx406E でハングするのを防止するためハードウェアイニシャライゼーション設定を追加。これは以下のシステムに影響する P5: 9115-505, 9110-51A, 9111-285, 9131-52A) <p>モデル 570 システムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> • ドロワ 2 台とプロセッサカードのフューチャコード : 29AE, 7781, 7782, 832E, 8338 のモデル 570 システムでスローモード IPL 中に、エラーコード B182E500 発生の原因となる問題の修正
01SF240_202_202	<p>影響範囲：機能追加 重要度：必須</p> <p>(注：9111-520、9113-550、9117-570 モデルについては 01SF235_180_160 を適用下さい。これらのモデルに本 version を適用した場合、非常に低い確率ながらもメモリ訂正可能障害からシステム停止に至る可能性があります。ただし Power5+プロセッサ搭載モデルはこれに該当しません。)</p> <p>新機能</p> <ul style="list-style-type: none"> • モデル 560Q (9116-561) のサポート • Power5+プロセッサ搭載モデル(520, 520Q, 570)のサポート • 1 つのシステムにおいて、CoD 可能な DDR2 メモリと CoD 不可の DDR2 メモリの混在をサポート • プロセッサ資源とメモリ資源の論理区分における使用率の収集 (および HMC 上での表示) のサポート • Advanced System Management Interface (ASMI) メニューの 16GB ページのサポート • ASMI の“Restore to factory default”オプション、CoD オプション、time-of-day メニュー、firmware update policy メニューのエンハンス • ASMI の memory deconfiguration メニューに DIMM のロケーションコードを追加 • ASMI メニューに virtual LAN (VLAN) スイッチの数を設定するオプションを追加 • ファームウェアが原因の初期障害発生後、ハードディスクからブートをリトライする機能を追加(このような障害は主に外付けディスク装置のブートディスクに見られます) <p>全ての P5 システムに関連する変更</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 英語以外の言語において、advanced system management interface (ASMI) メニューの誤った表示の問題を修正 コンソール選択のタイムアウト (約 1 分) は、選択される可能性のあるコンソールの番号と無関係となるよう、ファームウェアのコンソール選択コードを変更 B7000103 エラーが生成された時、拡張データ消失が発生する問題を修正 System Management Services (SMS) のパスワード認証コードを変更。それにより、Advanced System Management Interface (ASMI) で許可されるパスワードで SMS に入ることが出来るようになりました。 サービスプロセッサがリセット/リロードを実施した後に、既に接続している無停電電源装置 (UPS) が正しく検出されない問題を修正 プロセッサ診断機能がダンプ中に実行された時に発生していた B1xxE500 エラーの問題を修正 サブシステム ID (B1xx yyyy の xx 部分) が、プロセッサ診断機能がエラーを報告してから、サービスプロセッサがエラーログエントリを作成するまでの間に変更されてしまうという問題の修正 VPD (Anchor) カードの交換後、VPD データの中のロケーションコードが invalid になる問題の修正 ある特定のハードウェアエラーが発生した時、システムファームウェアが RTAS エラー (エラーコード: FFFF D8F1, マルフアンクションコード: 0000 000C) を報告する問題の修正 ある特定の KVM スイッチが使用された時、システムファームウェアがクラッシュする問題の対策 PCI-X DDR スロットが空の時、BA180010 エラーがログにとられる問題の修正 <p>モデル 570 (プロセッサドロワが 2 台以上の) に関連する変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ASMI メニューを使用して、2 番目、3 番目、4 番目のプロセッサドロワのエンクロージャー VPD キーワードを変更できなかった問題の修正 冗長サービスプロセッサがインストールされているシステムで、ある特定の障害が発生した時に、障害サービスプロセッサが呼び出されるという問題の修正 <p>ハードウェア管理コンソール (HMC) により制御を行っているシステムに関連する変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ハードウェア管理コンソール (HMC) とサービスプロセッサとの接続状態をシステムファームウェアへ誤って報告する問題の修正 <p>24 インチラックにのらない P5 システムに関連するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ハードウェア管理コンソール (HMC) により制御を行なわないシステムにおいて、コンソールに進行 (progress) コードが表示される為、コンソールを選択するメッセージが画面上からスクロールされてしまう問題を修正 Double Data Rate (DDR) PCI スロットへの DDR PCI アダプタをサポート。これ以前のファームウェアレベルで、DDR PCI スロット上で DDR PCI アダプタを動作させるとデータエラーが発生する可能性があるため、DDR PCI アダプタを使用する場合は、このレベル以降のファームウェアをインストールして下さい。 <p>DDR アダプタのフルパフォーマンスはこのレベルではサポートしていません。今後のファームウェアのリリースにてフルパフォーマンスをサポートする予定です。</p> <p>モデル 590, 595、ハードウェア管理コンソール (HMC) により制御を行なうサーバに関連する変更</p> <ul style="list-style-type: none"> HMC との接続を切断した際に B1xx100A エラーが採られる問題の修正。この問題は 2 台以上の HMC が接続された装置で特に起こりやすいですが 1 台しか HMC が接続されていない装置でも起こり得ます。 大規模な構成の装置において、LED 関連のコマンドがタイムアウトする問題の修正。 (今までシステム F/W 更新後に自動的に開始していた) 電源制御 F/W の電源関連部品への落とし込みを有効・無効にする機能の追加。この機能は、たくさんの電源関連部品を搭載した装置において、(システム F/W 更新直後の) 電源制御 F/W の電源関連部品への落とし込みを無効にすることで、システム F/W 更新直後の待ち時間を短縮し、後でお客様の都合のよい時にそれを実施することができるようになりました。”
01SF235_180_160	<p>影響範囲：保守性向上 重要度：重要</p> <p>全ての、power5 システムに関連するファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定条件下で、動作中にシステムのクラッシュが発生することを対策するために、ハードウェアに対する初期設定内容を変更 システムおよびパーティションのクラッシュを引き起こす、誤ったチェックストップの発生を対策するために、メモリバッファに対する初期設定内容を変更 システムのアテンション LED を誤点灯させる原因となる問題を対策 serviceable events がないにも関わらず、システムのアテンション LED が誤点灯する問題を対策 SMS メニューにて、1 個の HDD 上に 2 個の AIX イメージが格納されている場合、ブートリストを参照したり、変更しようとした時に、ハングアップする問題を対策

	<ul style="list-style-type: none"> ・ パワーオン中に、11003114 エラーを採取する問題を対策 ・ VIO(virtual I/O)ファームウェア中に関する問題を対策 <p>モデル 590 や 595、および、その他のハードウェアマネージメントコンソール(HMC)により制御されているサーバ、クラスタシステムに関連するファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定のネットワーク設定の時、ハードウェアマネージメントコンソール(HMC)上で、VTERMセッションを起動できない問題を対策 ・ NETC SSL のタイムアウト設定時間を大きくすると、クラスタシステムにて、bulk power controller(BPC)のコネクションエラーが発生する問題を対策 ・ ハードウェアマネージメントコンソール(HMC)により制御している、平行メンテナンス動作が、「CIM client detected: hard stop or user intervention. Try again or delay the repair.」の表示が出力され、失敗する問題を対策 ・ 大規模システムにて、プラットフォームダンプが、メモリ境界アクセスエラーとなり失敗する問題を対策 ・ クラスタシステムにて、switchable tower の VPD エラーが発生する問題を対策 ・ DLPAR のメモリ削除(remove)操作を実行する時の所要時間を短縮 <p>ハードウェアマネージメントコンソール(HMC)により制御を行っていないシステムに関連するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ OS 上からのファームウェアのインストールが失敗する、ファームウェアのタイミングに関する問題を対策 <p>モデル 570 に関連するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 12 または 16 プロセッサのモデル 570 システムにて、SF230_160 のファームウェアでの、最大パーティション数が誤って 80 に設定されていた問題を対策。SF230_180 では、12 プロセッサでは最大 120 個、16 プロセッサでは、最大 160 個まで設定可能 ・ 3 個または 4 個のプロセッサドロー(CEC)構成のモデル 570 システムにて、SF230_160 以降のファームウェアをインストールする時、A7004713 エラーにより、システムが停止する問題を対策
01SF235_160_160	<p>影響範囲：機能追加 重要度：重要</p> <p>新機能追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新モデルのサポート (9131-52A, 9111-285, 9133-55A, 9115-505) <p>修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バルク電源制御(BPC)で生成されるサービスプロセッサエラーログのエントリ中のユーザデータの、データ長 2048B を超える部分が、切り捨てられる問題の修正 ・ パワーオンシーケンスが完了する前に白い電源ボタンが押されてしまった時に、B1816009 エラーが生成され、不要なサービスエージェントコールを発生する問題の修正 ・ モデル 590/595 システムで、スローモードブート中にスロット C10 と C12 に搭載された DDR2 メモリカードで、メモリテストエラーが発生する問題の修正 ・ 特定条件下で platform ダンプが不完全になってしまう問題の修正 ・ hypervisor ダンプのデータ破壊の問題の修正 ・ IO ドロワ (THE-7311-D20) のプラナー交換後、ロケーションコードが不正となる問題の修正 ・ バルク電源制御のタイムスタンプが、serviceable event ログのエントリ中へ追加される問題の修正 ・ "nvunalias"オープンファームウェアコマンドが動作しない問題の修正 ・ "remove FRU and add FRU"操作で更新しても、ハードウェアマネージメントコンソールの GUI 画面で、物理 I/O 記述フィールドが変更されない問題の修正 ・ service processor ダンプまたは platform ダンプが実行され、かつ、B1817201 または B7004400 エラーが発生する問題の修正 ・ システムポートに付けられたモデムが停電後に call-in 可能とし再構成されるようにファームウェアを変更 ・ lsmcode, lsvpd, snap などの VPD に関するコマンド実行時、ハングアップする問題の修正 ・ ファームウェアのインストール関連の問題の修正 リポート時 SRC B1814008 や B181F131 が生成される件 ファームウェアインストール中に service processor ダンプ発生 ファームウェアインストール後、テンポラリ側のファームウェアレベルを lsmcode -c コマンドで表示した時、レベルの値がオールゼロ表示の件 ・ 共有プロセッサを割当てたパーティションで、要因なし割り込みが次々と発生する問題の修正

01SF230_143_120	<p>影響範囲：保守性向上 重要度：必須</p> <p>注) 以下の修正を有効にする為には、システムパワーオフ/オンが必要となるものがあります。</p> <p>新機能追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ システムに VPD カードが無い場合の、ユーザへの通知コードを追加。システムがブートすることも防ぐ。 ・ ハードウェアマネージメントコンソール管理システムのファームウェアの並行保守のサポート追加 <p>修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハードウェアマネージメントコンソール管理下のシステムで、ファームウェアの稼動時並行更新失敗 (エラーコード ACT01724) の問題の修正 ・ ハードウェアマネージメントコンソール管理下のシステムで、サービスプロセッサに記録されるログのうちいくつかはハードウェアマネージメントコンソールに報告されない問題の修正 ・ ファームウェア更新後、B1817201, B1817209、或いはこれらと同様なエラーが発生してサービスプロセッサがすぐに reset/reload される問題の修正 ・ Platform ダンプや system ダンプでデータが壊れる問題の修正 ・ モデル 570 で、メディアベイ中の DVD ドライブが動作不能となる、メディアベイの電源断が発生する問題の修正 ・ ブート時に、デフォルトブートリストと SMS で書き込んだブートリストが入れ替わる問題の修正 ・ コントロールパネルの表示される時に、高い頻度でサービスプロセッサがダンプを実行する問題の修正 ・ ハードウェアマネージメントコンソールの DLPAR コマンドを使用して、2つの論理パーティション間で CD-ROM ドライブを移動する際の問題の修正 ・ モデル 570 で、内蔵イーサネットポートで DMA エラー (エラーコード 10000003) が発生する問題の修正 ・ システムクロックが 1969 年 12 月 31 日へ戻り、システムクラッシュ (B7000103) となる問題の修正 ・ lscfg -vp コマンドで、システムの VPD 情報が表示されない問題の修正 ・ lsvpd や lscfg コマンド実行にて、パーティションもしくはシステムのハングがインターミットtentに発生する問題の修正。また、lsmcode コマンドで「値が確定できない」ことを表示する問題の修正。 ・ モデル 520/550/570 で冗長電源がインストールされたシステムで、片系の電源供給が失敗すると、システムのパワーオンが失敗する問題の修正 ・ モデル 590/595 で、起動中のメモリーリークによる再起動の問題の修正 ・ モデル 590/595 の IO サブシステム (THE-7040-61D) で、各種プレーナーや RIO ケーブルが認識されない問題の修正 ・ モデル 590/595 で、ノードの電源オフ後に、GX バスアダプタカードの LED が点灯したままとなる不具合の修正 ・ モデル 590/595 で、ファームウェアのレベル SF222_075 から SF225_096 へのアップグレード失敗の問題の修正 (ハードウェアマネージメントコンソールのエラーコード ACT01724) ・ モデル 590/595 で、ファームウェア更新すると、バスアダプタカードで特定タイプのエラーが発生し、システムがブートする問題の修正 ・ モデル 590/595 で、ある特定条件下でエラーコード B7006900 でリブートが失敗する問題の修正 ・ モデル 590 で、12 以上の IO ドロワ (2 プレーナーとも有り) の大規模構成でブート不可の問題の修正 ・ モデル 590/595 で、virtual SCSI クライアントが、virtual SCSI サーバアダプタに接続しない問題の修正
01SF225_096_096	<p>影響範囲：機能追加 重要度：必須</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ASMI メニューを使用して "reset to factory configuration" 実施後、ファームウェアのテンポラリー側のイメージが消失したように見える問題の修正
01SF222_081_081	<p>影響範囲：機能追加 重要度：必須</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IO アダプタのエラー発生時に、AIX エラーログに誤って FSCSI エラーが記録される問題の修正 ・ プロセッサ診断機能が、メモリーエラー発生時、障害 DIMM (もしくは他のメモリー部品) を誤って指摘する問題の修正 ・ platform ダンプを実行すると、記憶領域を使い果たす問題の修正 ・ IO ドロワの LED の問題の修正

	<ul style="list-style-type: none"> メモリがつかないプロセッサをもつシステムで回復可能な CEC hardware error エラーを出力する時、数秒ごとにサービスプロセッサにエラーログエントリが生成される問題の修正
01SF222_075_075	<p>影響範囲：機能追加 重要度：必須</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル 590/595 のサポート追加 system VPD keywords を設定するための ASMI メニューオプションの問題の修正 DIMM の修正不可能エラー (uncorrectable error) により 8GB メモリが構成解除された時、システムがブートしない問題の修正 システム IPL 後、パーティションの時刻が 15 秒/月程度ずれる問題の修正 SMS メニュー中の、デフォルトブートリストと設定したブートリストが、入れ替わる問題の修正
01SF220_051_051	<p>影響範囲：機能追加 重要度：必須</p> <ul style="list-style-type: none"> UPS センスケーブル (FC1827) が認識されない問題の修正
01SF220_049_049	新規リリース

株式会社 日立製作所 エンタープライズサーバ事業部 2011 年 12 月

(c) Hitachi, Ltd. 2011, All rights reserved.